

## イベント上映ガイドライン -1

メガスターは、非常に幅広いシチュエーションに対応できることを特長としています。その上映には、ドームを利用する場合、長方形の部屋に直接星空を映し出す場合など様々な形態があります。

### 【既設ドーム上映】

#### ●特長

ドームシアター（オムニマックス等の大型映像）を活用したメガスターの上映です。通常の移動式プラネタリウムは、投影できるドーム径が小さいため、こうした既設ドームを利用した上映は困難でしたが、メガスターは最大で直径 30m（Super MEGASTAR-II）のドームまで対応できるので、ほとんどのドーム施設で上映を行う事ができます。音響設備や椅子、空調なども既存のインフラを活用できるので、低コストでクオリティの高い、洗練された上映を行う事が可能です。

#### ●設置条件

設置できるドーム直径は、最大で 30m まで。これは国内外の事実上全てのドーム施設に対応できることを意味します。水平館、傾斜館いずれも対応可能です。

メガスターは、ドーム中心か、もしくはなるべくその近くに設置する必要があります。適切な設置台もご用意ください。

必要に応じて、映像や、音響等の機材を設置する場合があります。

オートマチック上映では、星空以外の特殊効果のため、プロジェクタ等による映像機材を併用する場合があります。プロジェクタは、1台のみを使用する場合と、複数台を使用してドーム全面に映像を投影（全天周映像）する場合があります。演出内容や使用する機材の種類によって、必要なコストや設置調整時間は大幅に異なります。これら詳細についてはお問い合わせ下さい。

#### ●上映手順

メガスターの投影機本体をドーム中心に設置するだけです。設置にかかる時間は1時間ほどです。生解説上映の場合は、補助機材の設置を含めても4時間程度あれば十分です。オートマチック上映で映像機材を使用する際は、プロジェクタ1台の場合で設置調整にまる1日以上、複数のプロジェクタを使用する全天周映像を併用する場合は、プロジェクタの搬入含めて2日～3日ほど必要です。

#### ●上映内容

上映内容は、解説員による生解説や、オートマチック上映など多様です。

## イベント上映ガイドライン-2

### 【エアドーム上映-1】

#### ●特長

メガスターにとって最もスタンダードな上映スタイルです。エアドームとは、空気で膨らませる方式の仮設ドームで、光と空気を通さない特殊生地で作られています。ドームがない施設でも、十分な広ささえあれば本格的なメガスター上映が実施できます。

投影機は、世界にたった一台しかない初代機「メガスター I」を使用しています。恒星数はメガスター II 並の 410 万個に改良されており、独自の朝夕焼け演出機能なども備え、温かい雰囲気の出演が可能なことも人気のひとつです。

大平技研で保有するドームは、直径 10m<sup>(※1)</sup> という中型常設館に匹敵する規模のものです。リクレーニングシート利用で 40 名、寝転び方式では 60 ~ 70 名程度を収容可能です。また弊社のエアドームは、出入り口に十分な間口とスロープを設けてあり、車椅子の方もスムーズに入場可能なバリアフリー仕様<sup>(※2)</sup> となっています。

(※1) ご要望に応じて、より規模と収容人数の大きな直径 15m も提案が可能です。

(※2) 仮設用プラネタリウムドームとしては唯一です。

#### ●設置条件（直径10Mの場合）

1. 風雨をしのげる屋内環境であること（露天および風に晒される環境下では原則として設置ができません）。
2. ドームを設置できる広さ（床面 12m×15m 以上、天井高 7m 以上）であり、床面は大きな突起物のない平坦面であること。（本資料P7・P8 図面参照）
3. 設置調整と上映、撤収の全工程が複数日にまたがる場合、夜間施錠可能であること。もしくはそれに相当する警備、セキュリティが確保できること。
4. 必要な容量の電源（AC100V 15A×3 系統以上→上映内容によってさらに必要になる場合があります）が確保できること。
5. ドーム等機材の搬入路が確保できること（ドームは木箱に梱包した状態で幅 1m、長さ 1.5m、高さ 70cm ほどです）。重量物（約 250kg）のため、階段での運搬は原則不可。地上階以外は、貨物用および乗用エレベータ、またはユニック（クレーン）などを使用して搬出入を行います。

また、必須条件ではありませんが、ドームには極力直射日光が当たらないこと、冷暖房などの空調設備が整っていること、観客待ちのスペースが十分あることなども望ましい条件となります。

## イベント上映ガイドライン-3

### 【エアドーム上映-2】

#### ●上映手順 1.

##### 設置調整

ドーム搬入から設置、調整完了まで短くて 6 時間、長い場合は 1 日を要します  
(上映内容に依ります)。

#### 2. 上映

上映時間は、内容や希望によりますが 20 分～ 40 分程度。観客の出入りに 2 重式エアロック扉を使用する都合上、最低でも空き時間として 20 分を要します。つまり上映時間が 30 分であれば、出入り時間を含めて上映時間は最短で 50 分間隔になります。

#### 3. 撤収

撤収作業は、凡そ 3 時間から 4 時間を要します。

#### 4. 上映内容

上映には、主に生解説上映とオート番組上映があります。

生解説上映は、短期間（上映日が 4 日間以下）で多く行われます。専任の解説員（開発者の大平貴之自身が務める場合もあります）による肉声の解説です。観客の反応を受け、時にお客様との掛け合いをしたり、最新の天文に関する話題をいち早く取り込んだり、アットホームで臨機応変な上映が魅力です。

オート番組は、5 日以上の上映で多く行われます。「星空の贈りもの」、「七タランデブー」などのライブ러리作品のほか、立体音響やコンピュータグラフィックスを駆使して、会場や季節に応じた様々な上映プログラムを作成しています。

## イベント上映ガイドライン-4

### 【プラネタリウム施設上映】

#### ●特長

メガスターは最大で直径 30m (SUPER MEGASTAR-II) のドームまで対応できるので、ほとんどのドーム施設で上映を行う事ができます。音響設備や椅子、空調なども既存のインフラを活用できるので、低コストでクオリティの高い、洗練された上映を行う事が可能です。

#### ●設置条件

既設のプラネタリウム投影機があるため、以下のいずれかの方法で設置することになります。

##### 1. 既設投影機を下げ、その上に設置する

エレベータで昇降できるようになっている場合は、既設投影機をエレベータで下げ、その上に蓋を置いてメガスターを設置します。(蓋の造作に別途コストがかかる場合があります)。

##### 2. 既設投影機の横に並べて置く

既設投影機を動かさない場合はその横に設置します。ドーム球心から外れるため、星空の投影される位置には厳密にはずれが生じますが、投影機の位置がドーム半径に対して三割程度の範囲に収まっていれば、星空の見え方は、中心に設置した場合とさほど変わりません。既設投影機の機種や形状によって、メガスター設置用の櫓を設置しなければならない場合があります。既設投影機による影が生じることがありますので、メガスターの設置高さはよく吟味して決定する必要があります。

##### 3. 上映手順

オートマチック上映で、映像機材を使用する場合、プロジェクター 1 台による映像効果の場合は、設置調整にまる 1 日以上、複数のプロジェクターを使用する全天周映像を併用する場合は、プロジェクターの搬入含めて 2 日～3 日ほどの設置時間が必要です。

##### 4. 上映内容

上映内容は多岐にわたりますが、貴プラネタリウムの職員(解説員)による生解説がお勧めです。もちろんオートマチック上映を行うことも可能です。

## イベント上映ガイドライン-5

### 【非ドーム上映】

#### ●特長

「宴会場やホール、劇場などにそのまま星空を映し出す」。そんな芸当ができるのも、ハイパワーで運搬可能なメガスターならではの。会場の縦横幅の違いにより、星座の位置や形を正しく表示することが難しい場合もありますが、普段の空間に一気に星空が現れるのは、大きなインパクトがあるでしょう。

#### ●設置条件

上映会場としては、宴会場、ホール、劇場、その他商業施設などがありますが、どのような場所でも使用できるわけではありません。上映可能か否かは、弊社スタッフによるロケハン（下見）や試写などによって判断することが必要になりますが、おおむね以下の条件が目安となります。

##### 1. 壁および天井までの距離が、15 ～ 20m 以下

壁や天井の色あいによっても変わってきます。壁の色は白がベストです。白や明るい色であれば大きめの会場でも投影できますが、黒に近い暗色では投影可能サイズが小さめになります。

##### 2. 照明などがほとんど消せる（ド暗転）こと。また外光などが遮光できること。

室内照明はもとより、外光を遮光することは必須の条件となります。出入り口にある非常灯の明かり、劇場にある足下灯なども消せることが望ましいです。目安として、0.05lux以下の照度でなければなりません。

##### 3. 必要な電源が供給できること（100V-15A-1 系統もしくは 2 系統）

その他、会場により様々な制約を受けることがあります。音楽コンサート等、明るい照明がどうしても必要な場合でも、演出上の工夫（たとえば照明の当て方により、散乱光を最低限にする。または特定の時間だけ照明を暗くして星空を見せる等）によって、十分な演出効果が得られる場合がありますのでご相談下さい。

#### ●上映手順

個別対応になりますのでご相談下さい。

#### ●上映内容

個別内容になりますのでご相談下さい。

## イベント上映ガイドライン-6

### 【その他】

博覧会、その他大型イベントにおいては、そのイベントに合わせた空間設計や、目的に応じた収容人数のドームの企画設計から上映までをお手伝いします。（愛知万博や、日本橋 HD-DVD プラネタリウムなどで実績を重ねています）。また、大平技研ならではの機動力、技術力を活かし、現有のメガスターでは対応できないような超大型空間や、特殊環境（全天球など）にも対応する特殊仕様機材を製作、提供することも可能です。あなたの壮大な夢と斬新な企画が、新たなメガスターを生み出すかもしれません。ご相談下さい。

### ●お問い合わせ

有限会社 大平技研 (Ohira Tech Ltd.)

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4489-1

E-mail: [event@megastar.jp](mailto:event@megastar.jp)

TEL: 045-507-3531 FAX: 045-507-3532

1

2

3

4

A

A

B

B

C

C

D

D

E

E

F

F

圧力調整機  
(500 × 500)

送風機 (400  
× 400)

1800

7000

R5000

エアロック

2000

φ 10000

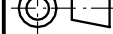
2600

UNIT

mm

SCALE

ANGLE



TOLERANCE

0.5 < L ≤ 6 ±0.1

6 < L ≤ 30 ±0.2

30 < L ≤ 120 ±0.3

120 < L ≤ 400 ±0.5

400 < L ≤ 1000 ±0.8

ANGLES

±1°

PARTS No.

MATERIAL

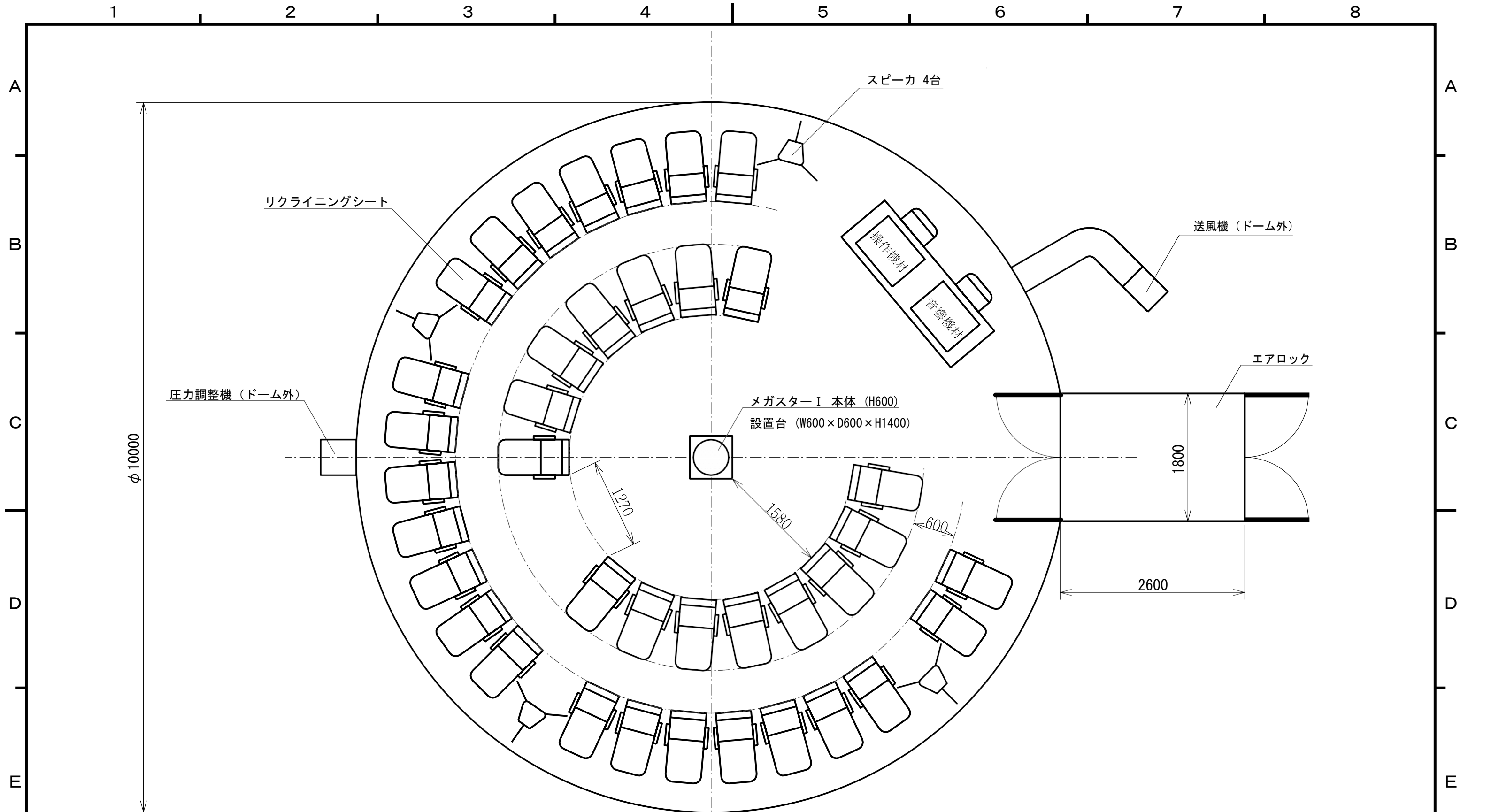
FINISH

USED ON

DESCRIPTION

DATE	REVISION		
DRAWN	CHECKED	APPROVED	PAGE

エアドーム (直径 10 m) 外形図



注記

- リクライニングシートの配列は一例とし、最大数(38脚)の場合を示す。
- 通路幅員寸法は、リクライニングシートの背もたれを最も倒した場合を示す。

				UNIT	TOLERANCE		MATERIAL	FINISH
				mm	0.5 < L ≤ 6	±0.1		
					6 < L ≤ 30	±0.2		
					30 < L ≤ 120	±0.3		
					120 < L ≤ 400	±0.5		
					400 < L ≤ 1000	±0.8		
					ANGLES			
					±1°			
DATE	REVISION			SCALE	PARTS No.		USED ON	
DRAWN	CHECKED	APPROVED	PAGE					
				ANGLE			DESCRIPTION	
							エアドーム(直径10m) 配置図	